

平成29年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		心身障害者(児)ヘルパー養成					所管	福祉部 障害福祉課
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	178	計画事業名	心身障害者(児)ヘルパー養成			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり						
		[小 柱] (5)障害者の地域生活を支える支援の充実						
		[施策] ②在宅サービスの充実						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	台東区心身障害者移動支援従事者養成研修実施要領 等				
	事業対象	直接の対象:区内在住の障害者の移動介護に従事する希望を持つ者 最終的な対象:区内在住障害者						
	事業目的	ガイドヘルパーの養成を行い、障害者の移動支援サービスにおける提供体制を確保する。						
事業内容	知的障害者の外出時の介護を担うガイドヘルパーを養成するための研修を、年間2回実施。							
委託の有無	一部委託	委託内容	ガイドヘルパー養成に係る講習及び研修の実施					
補助金の有無	なし							
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	研修実施回数	回	2	2	2	2	
		成果指標	ヘルパー養成人数	人	30	29	21	29
	決算額 (単位:千円)				577	577	577	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,700	1,604	1,783	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			577	578	578	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			2,277	2,182	2,361	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			2,277	2,182	2,361			
前回評価から改善した事項	区内の知的障害者の移動支援を行っている事業所に募集チラシを送付するとともに、ボランティア掲示板やツイッターで発信するなど事業周知の充実を図った。							
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由						
	必要性	3	ガイドヘルパー研修での養成人数はほぼ横ばい状態であるが、移動支援・通学支援事業は障害者総合支援法では必須事業で、移動支援事業を担うガイドヘルパーの養成が求められている。					
	効率性	3	運営形態は、区内のNPO法人に委託し、地域の福祉資源等の活用を図るとともに、実践練習ではより効果的なものとなっている。					
	手段の適切性	2	講義だけでなく障害者の協力を得て移動支援の体験を行うことで、障害者への理解促進や交流を図ることができ、障害者の移動支援サービスにおける提供体制を確保することができている。ボランティア掲示板やツイッターを活用するなど事業周知の充実を図ったが、引き続き募集方法の見直しが必要である。					
	目的達成度	3	受講申込みが偏ってしまったが、ヘルパー養成人数は前年度よりも増加した。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)								
年ごとに研修受講者数が増減するため、各種ボランティア講習会で周知用チラシを配布するなど、募集方法を工夫していく必要がある。また、研修受講者が全課程を修了できるように、研修の実施方法について検討する。								
<b>評価結果</b>	今後の方向性	改善						
	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了							